

自己評価結果(令和元年度)

川辺町第2こども園

評価項目	評価内訳(割合)		
	できている	少しできている	できていない
1. 総則	82.4%	3.0%	14.6%
(1)教育及び保育の基本と目標	84.6%	1.5%	13.8%
(2)特に配慮すべき事項	81.9%	3.3%	14.8%
2. 子どもの発達	91.4%	4.3%	4.3%
3. 「ねらい」及び「内容」	87.8%	2.0%	10.2%
(1)「健康」	91.8%	1.8%	6.4%
(2)「人間関係」	95.5%	0.9%	3.6%
(3)「環境」	78.2%	1.8%	20.0%
(4)「言葉」	92.7%	2.7%	4.5%
(5)「表現」	80.9%	2.7%	16.4%
4. 低年齢児の保育実施上の配慮事項	88.6%	1.1%	10.2%
(1)乳児期の保育に関する配慮事項	85.7%	3.6%	10.7%
(2)満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項	90.0%	0.0%	10.0%
5. 指導計画作成にあたっての配慮すべき事項	82.0%	2.7%	15.3%
6. 研修と自己評価	73.3%	1.3%	25.3%
7. 子育て支援	82.4%	0.0%	17.6%
合計	84.9%	2.2%	12.9%

達成状況	できていること	できるとよかったこと
1. 総則	・子どもたちが安心して園生活ができるよう配慮している。 ・園での子どもたちの様子をお迎えのときや連絡ノートなどを通して保護者に伝えている。 ・子どもたちの安全を確保しながら、一人ひとりが意欲的に遊ぶことができるようにしている。	・環境(あそび)を通しての教育・保育の必要性は認識し実行しているが、他者に対して具体的に説明する力が不足しているように感じる。 ・分かりやすい言葉で穏やかに話しかけることを意識しているが、否定的な言葉がけをしてしまうときがある。
2. 子どもの発達	・子どもたちが自分から関わろうとしている姿を喜び、認めたり、励ましたりしている。 ・子どもたちが互いに認め合い、関係が深まることを願いながら、こども一人ひとりと信頼関係が構築できるようにしている。	・こどもの発達は均一的ではなく、様々な要因により一人ひとりに違いがあることは承知しているが、相対的に見てしまうことがある。

3. 「ねらい」及び「内容」	・園庭や散歩で集めてきた葉や木の実など季節感のある素材を活かした教育・保育活動となるよう取り組んでいる。 ・様々な機会を通して、こどもたちが自分の気持ちを伝え、相手の気持ちが分かるよう仲立ちしたり、寄り添ったりしている。	・こどもが話しているとき、最後までゆったりと聞くように努めているが、時間に追われているなど気持ちに余裕がないときなどは、できないときもある。
4. 低年齢児の保育実施上の配慮事項	・基本的な生活習慣が習得できるよう、一人ひとりの発育・発達に応じて無理のないよう取り組んでいる。	・こどもの健康状態は常に気にかけて、体調の変化は複数の目で確認しているが、感染症との関連づけが十分でないこともある。
5. 指導計画作成にあたっての配慮すべき事項	・保育の連続性や季節の変化に応じた指導計画を作成している。 ・こどもの様子や園内での出来事などを掲示板や朝礼などを通して、職員間で共有できるようにしている。	・その年その年のこどもの姿などに適した計画となるよう努めているが、毎年類似する計画内容となることが多い。
6. 研修と自己評価	・自己の保育内容を振り返る際に他の保育教諭の意見を聞くようにしている。	・資質向上の意欲はあるが、優先順位を考えると研修や研究活動が十分ではないと感じている。
7. 子育て支援	・保護者からの相談内容に応じて、個人懇談などの機会を設けるなど、園全体で受けとめ寄り添うようにしている。	・一人ひとりの保護者にあった支援を心がけているが、その思いが保護者に上手く伝わらないときがある。

< 来年度取り組むべき課題及び提案 > ・風通しの良い職場環境により、互いに意見を出し合い、反省や工夫をしながら園全体の教育・保育の質の向上に努めていく。 ・こどもたちの想いや願いに寄り添い、「からだを動かすこと」「自分で考えること」「ともだちと関わること」の楽しさや喜びが感じられる環境づくりに取り組んでいく。 ・こどもたちの園での生活をホームページなどで公開することにより、こどもたちの成長や学びを分かりやすく伝えていく。
--